

**AG5の研究を始めるにあたり、子どもや教師自身が、AG5の研究を通して何を身に付けるべきか明確にする必要があると考え、研究用ルーブリックを作成しました。**

ルーブリックとは、学習到達度を評価項目とレベルで表形式に表したものです。加えて、遠隔授業を通して、子どもが何を身に付ければよいかを明確にする授業用ルーブリックも作成しました。

**まずは、研究用ルーブリックを紹介します。**

これはAG5の3年間の研究において目指すべき到達度を明確化し、どんな資質・能力を重点的に身に付けていくかを視覚化するために作成しました。

ルーブリック作成に当たり、職員研修をZoomで行い、本校の研修テーマ「深い学びの実現」に迫るための重点目標である「①ICT機器の効果的活用」「②児童生徒の対話的な学習の実現」のために、それぞれの職員がどのようなことをできるようになりたいかを考えました。そして、Google Jambord（参加者がホワイトボードに書き込んだり、付箋を貼ったりできる機能）を活用し、意見を全体で共有し、学校全体の研究用ルーブリックが完成しました（写真1）。

研究用ルーブリックを作成する際に大切にされたことは、作成の時点で全教員の思いを汲み取りそれを反映させたことです。全員が「チーム（全教員）で作ったルーブリック」と感じることが重要であり、そのためにこの過程の時間をしっかり取りました。ルーブリック作成を通して、研究で目指すべきものがはっきりとしたため、教職員が意欲的に研修に取り組むことができます。

## 研究用ルーブリックの紹介

また、研修を行う際も、目指すべきことがはっきりしているので、ブレずに芯を持って実施することができています。

学校が再開した際、この研究用ルーブリックは校内に掲示し、教員や児童生徒だけでなく、地域や保護者の方々にも触れるようにしたいと考えています。そうすることで、どのような目的で本校がアグアスカリエンテス日本人学校と合同交流をしているのか、またその意義を確認することができると考えます。



報告：サンホセ日本人学校 宮本 豪先生  
（担当教科：国語（中）社会（全）  
図工（全）美術、道徳（中））

ヒアリング：AG5研究補助員 関 温理

S J 目指す教員の資質・能力ルーブリック（A G 5）

①ICT

S	A1	A2	観点
<p>「iPad」や「Zoom」、様々なアプリケーションの機能を理解し、扱うことができる。</p>	<p>「iPad」や「Zoom」の機能を理解し、扱うことができる。</p>	<p>「Zoom」の機能を理解し、扱うことができる。</p>	<p>ICT操作力</p>
<p>（A1における右記の技能に加えて）  <input type="checkbox"/> Google系アプリを以下のものから2つ以上使うことができる。                      （ドライブ、スプレッドシート、ドキュメント、スライド、form、jamboard）  <input type="checkbox"/> ロイロノートスクールを以下のように活用することができる。                      ・授業教材や課題の作成                      ・資料やワークシートの配布・回収                      ・解答の添削と返却  <input type="checkbox"/> Microsoft officeアプリやEvernote, GoogleドライブやDropboxといったアプリ（または端末）間で、データのインポート・エクスポートを行うことができる。</p>	<p>（A2における右記の技能に加えて）                      iPadにおいて  <input type="checkbox"/> カメラ機能やスクリーンショット、画面収録を使える。  <input type="checkbox"/> メモ機能を使用することができる。  <input type="checkbox"/> アプリをインストールできる。  <input type="checkbox"/> Air Dropでデータの受け渡しができる。  <input type="checkbox"/> PDFなどを取り込んで使用することができる。  <input type="checkbox"/> ZoomでiPadの画面をミラーリングすることができる。  <input type="checkbox"/> Applepencilを使って書き込みをすることができる。</p>	<p><input type="checkbox"/> チャットでメッセージを送ることができる。  <input type="checkbox"/> ホワイトボード機能を使える。  <input type="checkbox"/> 参加者に対しての、ミュートや共有への書き込み、チャットなどのアクセスコントロールができる。  <input type="checkbox"/> 画面共有を行い、動画や写真、教材などを参加者に見せることができる。  <input type="checkbox"/> ホストとしてミーティングを開いて入室させたり、他のミーティングに入室したりすることができる  <input type="checkbox"/> 画面のオン・オフができる  <input type="checkbox"/> 「反応」ボタンで反応ができる  <input type="checkbox"/> 名前を変えることができる  <input type="checkbox"/> 背景を変えることができる</p>	<p>具体的な技能</p>

S J 目指す教員の資質・能力ルーブリック（A G 5）

①ICT

S	A1	A2	観点
<p>本校外部との関わりを通して、児童生徒が多様な意見に触れることのできるようになるために、ICTを活用することができる。</p>	<p>児童生徒が、学習に関する多様な情報に触れることができるようにするために、ICTを活用することができる。</p>	<p>職務や授業において、日常的にICTを活用することができる。</p>	<p>ICT活用力</p>
<p>（A1における右記の技能に加えて）  <input type="checkbox"/>Zoomなどで、他校や外部機関・人材と顔を合わせて交流するまたは学習する場をもつことができる。  <input type="checkbox"/>ロイロノートやGoogleドキュメント・スプレッドシートなどを活用して、互いの様々な意見を共有することができるようにする。  <input type="checkbox"/>児童生徒が目的に応じてアプリケーションを選択できる環境を設定することができる。  <input type="checkbox"/>共有した画面やアプリケーションに、児童生徒が自分の考えを書き込めるようにすることができる。</p>	<p>（A2における右記の技能に加えて）  <input type="checkbox"/>写真や動画など学習に関する資料をZoomにおいて共有することができる。（チャットへのURL・ファイルの添付、画面共有、ミラーリング等）  <input type="checkbox"/>バーチャル体験をさせることができる。（Zoomカメラ機能を活用し実物を見せる・インタビューをする等）  <input type="checkbox"/>写真や動画など学習に関する資料データを、iPad等で児童生徒に配信することができる。  <input type="checkbox"/>ロイロノートなどに学習に関する資料を保存し、児童生徒に共有させることができる。</p>	<p><input type="checkbox"/>職員間の共通理解を図るために、クラウドやAirDropによって学校資料を閲覧、編集することができる。  <input type="checkbox"/>大型モニターにPCやiPad等の画面を映すなど、授業でICT機器を活用することができる。  <input type="checkbox"/>授業においてタブレットやPCを児童生徒に使用させることができる。  <input type="checkbox"/>Microsoft officeを遠隔授業等で活用できる。</p>	<p>具体的な技能</p>

## ②対話的学習の充実

シンキングツール、アプリケーション（Googleスプレッドシート、Google jamboard、ロイロノート、その他）、教科横断的な指導、異学年交流、等

上記の手立てを参考に

S	A1	A2	観点
各教科の見方・考え方を生かした内容で、遠隔学習における対話の場を充実させることができる。	児童生徒が遠隔学習において、自分の意見を伝えたり、相手の意見を聞いたりする場を増やすことができる。	児童生徒間のコミュニケーションの機会を増やすことができる。	対話的学習の充実
<ul style="list-style-type: none"> <li>□Zoomを活用して、他校との合同授業や外部ゲストティー等との交流を実現する。</li> <li>□Zoomやアプリケーションなどを活用して、課題解決に向けた意見交流や協働学習を、活発に行えるようにする。</li> <li>□課題解決へのアプローチに各教科の見方・考え方を生かす。</li> <li>□課題解決のためにどのような共同活動を行っていくか、児童生徒自身が考え、選択できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□Zoomやアプリケーションなどを活用して、他学年や他校の児童生徒、外部の方々と、意見や感想などを伝え合える場を設定する。</li> <li>□学習成果の発表をしたり、相手の発表を聞いたりする機会を設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□全校朝（帰り）の会やZoom、共有アプリケーションなどを活用して、他学年や他校の児童生徒と話をしたり、簡単なゲームをしたりするなど、交流ができる場を設定する。</li> <li>例）ドキュメント上で意見交流、スプレッドシートやZoomのチャットにおいて英語で会話、ロイロノートでなぞなぞ出題など</li> </ul>	具体的な指導

S J 目指す児童生徒の資質・能力ルーブリック（A G 5）

※は発達段階に考慮して評価する

S	A1	A2	I C T 活 用 力
<p>I C Tを目的に応じて活用することができる。</p>	<p>I C Tで簡単な意思表示をすることができる。</p>	<p>I C Tの基本的な操作を行うことができる。</p>	
<p>(A1における右記の技能に加えて)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> We bを開いて調べることができる。※</li> <li><input type="checkbox"/> 学習支援システムを使うことができる。※</li> <li><input type="checkbox"/> Zoomやロイロノートなどのアプリケーションを活用し、言葉や資料、音声などを組み合わせて自分の考えを伝えることができる。</li> <li><input type="checkbox"/> 目的に応じて、活用するI C Tを選択することができる。</li> </ul>	<p>(A2における右記の技能に加えて)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 発達に応じてタイピングができる。※</li> <li><input type="checkbox"/> タブレットやP Cにおいて自分の考えを簡単な文や録音で表現することができる。</li> <li><input type="checkbox"/> Zoomやアプリケーションにおいて、相手の意見に反応や返事をするすることができる。</li> <li><input type="checkbox"/> Zoomの画面共有において書き込みができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 遠隔授業に一人で参加することができる。</li> <li><input type="checkbox"/> タブレットを使って絵や単語を書くことができる。</li> <li><input type="checkbox"/> タブレットに送られた資料を見たり、タッチで拡大・縮小したりすることができる。</li> <li><input type="checkbox"/> タブレットを使って写真を撮ることができる。</li> </ul>	<p>具 体 的 な 技 能</p>

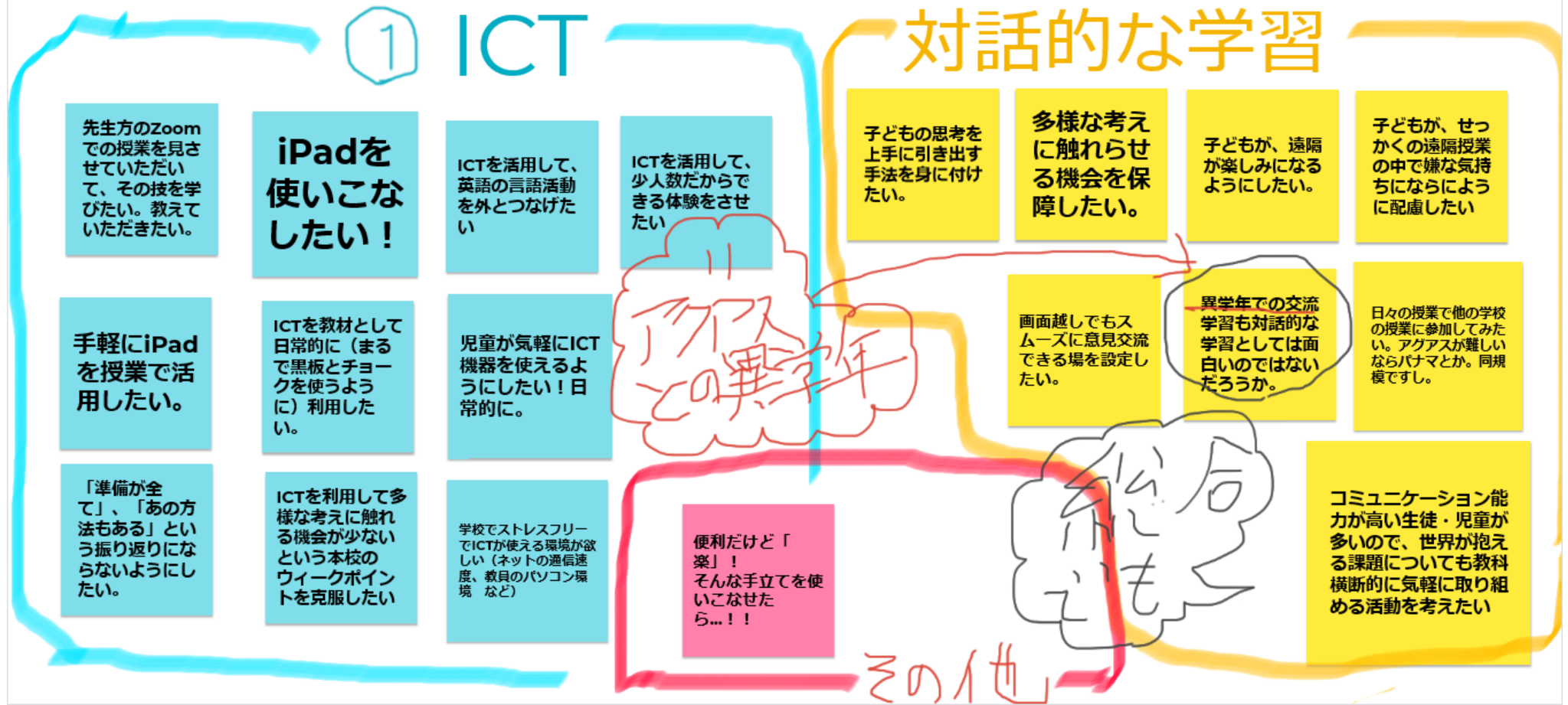
S J 目指す児童生徒の資質・能力ルーブリック（A G 5）

※は発達段階に考慮して評価する

S	A1	A2	
<p>遠隔学習が好きで、多様な意見に触れることで、自分の考えをさらに深めることができる。</p>	<p>遠隔学習が好きで、積極的に外部の人達と関わり、多様な考えを知ることができる。</p>	<p>遠隔学習において、他の人の意見に興味をもって学習に取り組むことができる。</p>	<p>多様な関わりによる 思考力</p>
<p>(A1における右記の姿に加えて)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>自分と相手の意見を関連づけて考えている。</li> <li><input type="checkbox"/>自分と相手の意見を比較して考えている。</li> <li><input type="checkbox"/>自分の考えの変化を、理由も含めて伝えている。</li> </ul>	<p>(A2における右記の姿に加えて)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>遠隔授業の満足度が高い。</li> <li><input type="checkbox"/>遠隔授業を楽しみにしている。</li> <li><input type="checkbox"/>相手に自分の考えを伝えている。</li> <li><input type="checkbox"/>相手に質問や感想を伝えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>話している人に顔を向けて聞いている。</li> <li><input type="checkbox"/>相手の話を最後まで聞いている。</li> <li><input type="checkbox"/>相手の話になんらかのリアクションをとっている。</li> </ul>	<p>具 体 的 な 姿</p>

図1 : Jamboard を使った話し合い

# こんなことができるようになりたい！



9月号では、授業用ルーブリックを紹介します。